



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月14日

上場会社名 株式会社 コピキタスAIコーポレーション
 コード番号 3858 URL <https://www.ubiquitous-ai.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 聡

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 芦谷 耕司

TEL 03-5908-3451

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,366	10.2	23		12		27	
2021年3月期第3四半期	1,240	21.2	267		263		287	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 23百万円 (%) 2021年3月期第3四半期 238百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	2.60	
2021年3月期第3四半期	27.52	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	2,681	2,404	89.7
2021年3月期	2,807	2,429	86.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 2,404百万円 2021年3月期 2,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		0.00	0.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,196	15.3	80		80		57		5.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	10,459,000 株	2021年3月期	10,459,000 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	117 株	2021年3月期	117 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	10,458,883 株	2021年3月期3Q	10,458,919 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における売上高は1,366,859千円、2021年5月14日公表の通期業績予想に対し62.2%の達成率となりました。

「ソフトウェアプロダクト事業」は、組込みネットワークソフトウェア及びセキュリティ関連ソフトウェア製品、データベース製品、高速起動製品等の、主に自社開発によるデバイス組込み用ソフトウェアの開発及び販売等に関するセグメントであります。

「ソフトウェアディストリビューション事業」は、海外ソフトウェアの輸入販売、テクニカルサポート及びカスタマイズ開発に関するセグメントであります。

「ソフトウェアサービス事業」は、株式会社エイムにおける、組込みソフトウェア等の受託を中心とした各種ソフトウェアの設計、開発及びデータコンテンツのライセンス販売等に関するセグメントであります。

セグメント別の売上内訳及び事業状況は、以下のとおりであります。

セグメント	当第3四半期連結累計期間		前第3四半期連結累計期間	
	売上高(注) (千円)	売上割合 (%)	売上高(注) (千円)	売上割合 (%)
ソフトウェアプロダクト事業	523,996	38.3	376,760	30.4
ソフトウェアディストリビューション事業	605,140	44.3	632,236	51.0
ソフトウェアサービス事業	237,722	17.4	231,871	18.6
合計	1,366,859	100.0	1,240,866	100.0

(注) 売上高は、セグメント間取引を消去しております。

また、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントのうち、「ソフトウェアプロダクト事業」と「ソフトウェアディストリビューション事業」のセグメント利益の算定方法について、従前、旧株式会社ユビキタス、旧株式会社エーアイコーポレーションの事業収支をセグメント利益として記載しておりましたが、両社合併後、営業部門、マーケティング&コミュニケーション部門、管理部門等の共通部門の一本化を推進してきたことから、共通部門費用を1:1に配賦する方法に変更いたしました。

なお、第1四半期連結会計期間より、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後の算定方法によるセグメント利益に組み替えた数値で比較しております。

■ソフトウェアプロダクト事業

ソフトウェアプロダクト事業の売上高は523,996千円(前年同四半期比39.1%増)、セグメント利益は118,415千円(前年同四半期比715.6%増)となりました。

ネットワーク&セキュリティ関連製品では、車載関連機器の既存顧客からの契約時一時金売上、産業機器の既存顧客からの受託開発売上、IoTセキュリティ関連の研究開発案件の売上を計上いたしました。

高速起動製品では、国内外の車載機器関連、海外民生機器の既存顧客からのロイヤルティ売上を計上いたしました。引き続き、カーナビゲーションシステム等車載向け機器を中心に、複数社との間で大・中規模案件の開発が継続しております。

データベース製品では、産業機器等の既存顧客からのロイヤルティ売上等を計上いたしました。

■ソフトウェアディストリビューション事業

ソフトウェアディストリビューション事業の売上高は605,140千円(前年同四半期比4.3%減)、セグメント損失は183,951千円(前年同四半期は236,270千円の損失)となりました。

BIOS製品の「InsydeH20[®]」(「EFI/UEFI」仕様を実装したC言語ベースBIOS)やワイヤレス製品「Blue SDK」(Bluetoothプロトコルスタック)のロイヤルティ売上、品質向上支援ツール製品「CodeSonar」(ソフトウェアの動的不具合をソースコードやバイナリファイルから静的に検出することができる解析ツール)のライセンス売上、キャリアグレード製品「ConfD」(オンデバイスネットワーク機器管理用ソフトウェア)のライセンス及びロイヤルティ売上やIoTセキュリティ検証サービス等を中心に、多数の取扱い製品より、新規、既存顧客からのロイヤルティ売上等を計上いたしました。

また、当四半期において、以下製品の販売を開始いたしました。(括弧内は開発元企業)

- ・ 車載Android™機器向けAutomotive-Grade Bluetoothプロトコルスタック「Blue SDK FUSION」(ドイツ OpenSynergy GmbH.)

2021年11月、株式会社チームAIBODとの資本・業務提携に基づき、製造業でのAI/DXを実現する課題解決型人材育成サービス「AIBOD ACADEMY(アイボッド アカデミー)」を提供することを発表いたしました。

■ソフトウェアサービス事業

ソフトウェアサービス事業の売上高は237,722千円(前年同四半期比2.5%増)、セグメント利益は41,844千円(前年同四半期は45,707千円の損失)となりました。

ソフトウェアサービス事業では、既存顧客との各種受託開発売上、データコンテンツ「YOMI」に関する車載機器向けを中心としたライセンス使用料売上等を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高1,366,859千円(前年同四半期比10.2%増)、営業損失23,692千円(前年同四半期は267,457千円の損失)、経常損失12,621千円(前年同四半期は263,462千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失27,234千円(前年同四半期は287,850千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、2,292,260千円(前連結会計年度比122,585千円減)となりました。その主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、388,754千円(前連結会計年度比4,275千円減)となりました。その主な要因は、ソフトウェアの減少であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、199,809千円(前連結会計年度比98,615千円減)となりました。その主な要因は、買掛金や未払金の減少であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、76,589千円(前連結会計年度比3,837千円減)となりました。その主な要因は、資産除去債務の減少であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、2,404,616千円(前連結会計年度比24,408千円減)となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	828,769	895,033
受取手形及び売掛金	676,667	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	408,233
有価証券	800,000	900,000
仕掛品	5,947	22,096
前払費用	46,612	40,885
未収還付法人税等	17,610	14,171
未収消費税等	9,365	—
その他	29,876	11,842
流動資産合計	2,414,845	2,292,260
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	9,231	7,603
工具、器具及び備品(純額)	12,866	14,009
有形固定資産合計	22,097	21,611
無形固定資産		
ソフトウェア	58,519	36,071
その他	653	2,456
無形固定資産合計	59,171	38,527
投資その他の資産		
投資有価証券	216,988	222,120
差入保証金	65,903	85,197
繰延税金資産	28,861	21,290
その他	10	10
投資その他の資産合計	311,761	328,616
固定資産合計	393,030	388,754
資産合計	2,807,875	2,681,015

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	131,566	58,726
未払金	47,168	28,421
未払費用	11,025	11,453
未払法人税等	19,520	9,879
未払消費税等	6,426	24,499
前受金	73,565	—
契約負債	—	63,537
その他	9,155	3,295
流動負債合計	298,425	199,809
固定負債		
退職給付に係る負債	41,242	40,787
資産除去債務	39,184	35,802
固定負債合計	80,426	76,589
負債合計	378,851	276,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,483,482	1,483,482
資本剰余金	1,453,482	1,453,482
利益剰余金	△586,530	△614,513
自己株式	△121	△121
株主資本合計	2,350,314	2,322,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,710	82,285
その他の包括利益累計額合計	78,710	82,285
純資産合計	2,429,024	2,404,616
負債純資産合計	2,807,875	2,681,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	1,240,866	1,366,859
売上原価	725,734	712,678
売上総利益	515,132	654,181
販売費及び一般管理費		
役員報酬	80,625	71,625
給料及び手当	295,392	344,128
法定福利費	47,098	51,209
退職給付費用	3,868	2,903
広告宣伝費	3,981	5,972
のれん償却額	157,618	—
不動産賃借料	41,259	40,797
支払手数料	59,567	74,857
研究開発費	43,060	38,161
その他	50,120	48,221
販売費及び一般管理費合計	782,589	677,873
営業損失(△)	△267,457	△23,692
営業外収益		
受取利息	558	592
受取配当金	1,930	2,196
為替差益	1,508	8,283
営業外収益合計	3,996	11,071
経常損失(△)	△263,462	△12,621
特別損失		
固定資産除却損	—	797
特別損失合計	—	797
税金等調整前四半期純損失(△)	△263,462	△13,418
法人税、住民税及び事業税	4,058	7,414
法人税等調整額	20,331	6,402
法人税等	24,389	13,816
四半期純損失(△)	△287,850	△27,234
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△287,850	△27,234

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△287,850	△27,234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,435	3,575
その他の包括利益合計	49,435	3,575
四半期包括利益	△238,415	△23,659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△238,415	△23,659

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示し、また、「流動負債」に表示していた「前受金」は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。